

島田見聞録

Radixの会 事務局 島田 晶子

「おいしい、いいもの」に出会えるためならば労力は惜しまない(と本人は思っている)私が、近頃の食をとりまく環境はどうなってるのという「？」について話題をひろっていく島田見聞録。今回は「おいしい、いいもの」を扱う本家本元、らでいっしゅぽーやが開催する会員さんとの交流イベントの現場にスポットをあててみました。

Report

■笹のっばらの畑塾 第4回め

神奈川センター(6月9日)

神奈川県相模原市。笹野哲夫さんの圃場。会員交流イベントはたいがい〇月〇日開催、という単発ものですが、この「笹のっばら」は3月から月に1度、5回連続での開催です。全回出席が参加条件。20組100名が参加しています(倍率6倍)。各回ごとに畑作業とお楽しみ企画があり、今回の作業はとうもろこしの虫取り、お楽しみ企画は竹ご飯と梅もぎでした。4回目ともなれば参加者同士もすっかり顔見知り。笹野さんはひとりひとりくまなく声をかけていました(名前も顔も一致している様子。さすがです)。

昼食はらでいっしゅの食材で作ったカレー。配送スタッフ、そして神奈川地区のエリアサークル(※1)で活躍中のエコロジーライフアドバイ



竹は神奈川センターのスタッフが南伊豆から切ってきたもの。(まめですね)



以前にみんなで植えたじゃがいもを収穫、本日のカレーの具となりました。



とうもろこしの虫取り方法を説明する笹野哲夫さん。

ザー(EA)(※2)もお手伝いにかけての手作り。普段らでいっしゅの会員さんといちばん近いところでおつきあいしている配送スタッフとEAさん、そしてその先の生産者、笹野さん。

みんながつながって神奈川地区の大きな輪ができていますと感じられるイベントでした。



米と水を入れた竹を炭火にかける。



出来上がったごはんにかレーをかけて…。ふっくらおいしく炊けるものなのでね。

■岐阜の佐藤さん・産地交流会 中部センター(6月16日)



川原にある畑へ向けて、荷物を運ぶ。

この釜、佐藤さん自前のもの。佐藤さんの枝豆を茹で(右奥の釜)、佐藤さんのごぼう入りけんちん汁を作りました。(手前の釜)



佐藤泰司(ひろし)さん



パートナーのふさ子さん

岐阜県岐阜市。佐藤泰司さんの圃場。中部

地域の会員さんからいちばん近い生産者さんのひとり。交流イベントも今年で7回目。「最近ようやくどんな企画をやったら会員さんが喜ぶか分かってきたんよ」と佐藤さん。今回はごぼう抜きに加え、抜いたごぼうのコンテスト、丸太のボウリング、宝探し、と盛りだくさん。パートナーのふさ子さん・スタッフによる手づくりのごぼう料理も好評でした。

なかなか抜けないごぼうにはお父さんが大活躍(?)。「有機野菜なんてどれも同じ」と思っ

ていたお父さんにとって、生産者さんに会い、土や作物に触れることでぐんぐんといっしゅに対する興味と理解が湧いたようです。「それがとても嬉しかった」というお母さんも。

中部センターのスタッフ、中部エリアの配送を担当するピーズグリーンのスタッフらが会員さんたちに積極的に話しかけ盛り上げ、佐藤さんひとりではケアしきれない部分を補うにあまりある「みんなで手づくり」していると実感できるイベントでした。「せっかく来てくれる会員さんいっぱい喜んで欲しいから、あれもこれもと考えるとやーっぱり足が出ちゃうよね」とは佐藤さんの談。



まずはごぼう畑の葉をみんなで刈り取りました



それからごぼう抜き。ものすごい力仕事にお父さん大活躍!!(炎天下だったこともありかなりへとへと)



土手の坂道を利用して丸太のボウリング。ピンを倒せば野菜や果物がもらえるとあって、親の方が力が入る?!

※1 エリアサークル：料理・ベビーサークル・ヒーリング企画などの各種教室。首都圏で約500名/月の会員さんが集う。会員さん同士の、らでいっしゅの商品や地域の情報交換の場ともなっており、エリアサークルを通じての交友関係も広がりを見せている。